

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	栗山町子ども発達サポートセンター		
○保護者評価実施期間	2025年12月4日		2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年1月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との共通理解でお子さんに対して満足いただける対応ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との面談を通して、家庭や園での様子、お子さんの興味、好きなこと、苦手なことなどを確認している。 保護者とお子さんのニーズに合わせた個別支援計画の作成や支援プログラムを実施している。 毎回、支援中の経過や様子を保護者に丁寧に説明するよう心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への説明の時間の確保や方法について、各ご家庭の状況に合わせて対応していく。
2	小中学校等との連携が確保できている。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の同意を得て、小中学校と情報共有や普段の様子を見学し、集団生活での状況を確認している。 所属訪問(契約児童)の事業を通して、年2回小中学校を定期訪問している。そこで担任との情報共有を行っている。 小学校の通級指導教室とも年2回、会議の場に各担当者が参加し情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中で特に配慮や工夫が必要なお子さんに対しては、今後も学校の都合や状況に合わせてながら、密に情報共有を行っていく。
3	ひとりひとりの個性に合わせた対応を念頭に、子ども同士の交流についても本人のニーズに合わせて取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの思いを大切に、学習支援や遊びを通して、楽しみながら学ぶ・成長することを優先している。 年齢や能力で区分することや、マニュアル的にルーティン化することよりも、保護者の同意を得て、それぞれのお子さんの個性に合わせた対応に重点を置いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びや経験を通して、興味の幅を広げ、苦手なことが克服できるように支援していく。 勉強が嫌にならないように配慮しながら、宿題の確認、復習予習の学習支援をお子さんの状況に合わせて行っていく。 子ども同士の交流の場所として支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境構成について	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化等により修繕が必要な箇所が多い。 施設設備や備品等が時代に合わないものになってきている。 職員の年齢層の偏りがあり、将来的な事業所の運営については課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 予算の中で将来的な視点を持って、計画的に修繕や購入を検討している。 利用する児童や保護者、職員等が事故や怪我の無いように日々の点検等を実施している。 経験や年齢による様々な視点や意見を支援に活かせるように職員の構成についても将来的な視点は必要。
2	各種のマニュアルを策定し、事業所の安全管理について努めているが、保護者への周知や説明が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者閲覧用のマニュアルはあるものの、実際に保護者が手に取って閲覧するような機会はほとんどないため、周知の方法について再検討が必要。 防災や防犯訓練、事業所の安全管理(感染や身体拘束、事故等)に必要な研修等を職員間で実施しているが、保護者への周知は十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約時やマニュアルの改定時などは保護者に個別に案内することや通信等で事業所の安全管理について周知する。 防災や防犯訓練、事業所の安全管理に関する研修等の予定はマニュアルでは定めているが、実施した内容や時期については通信などで周知することで、保護者も安心して事業所を利用できるようになるとと思われる。
3			